

# 情

## 地方財政の充実・強化を求め る意見書採択についての 陳情

# 陳

陳情者 伊勢崎市中央町30-4  
勤労者会館 日本労働組合総連合会  
群馬県連合会 伊勢崎地域協議会議長 根岸慎一

内容 社会保障等増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源の総額の確保を図ること、急増する社会保障ニーズへの対応や社会保障予算及び地方財政措置を行うことなど7項目。

### 総務常任委員会

「採択すべきもの」

(賛成全員)

理由 政府は地方の役割を拡大させる政策をとっている。しかし、内部留保という形で資金が都市部の一部大企業に集中している状況の中、地方財政の充実を求めることは大事だとの意見で一致しました。

### 本会議

採択 (賛成全員)

国へ意見書を提出

第1回臨時会  
(8月4日)

# 再提出された定数削減の 条例改正を可決！

議員の定数を、現行の16人から3人減らし、13人とする条例改正の議案が、8人の議員から提出され、採決の結果、賛成8人反対7人の賛成多数で可決されました。平成29年10月1日に行われた町議選から適用されました。

(提出者：川端宏和 賛同者：笠原則孝、浅見武志、渡辺俊彦、三友美恵子、町田宗宏、筑井あけみ、石内國雄)

## 反対 します

この議案には6人の議員から反対討論がありました。主な反対意見は次のとおりです。

## 主な討論

6月に否決された議案が、全く議論もされないまま再提出されている。

定数削減については一度も議論されていない。議会は議論の場であり、議会基本条例にも反する。

重要な案件であり、特別委員会等を設置して十分検討すべき。

民意をくみ取り、反映させることが議員の役目であり、安易な削減には反対。

※ 賛否の内訳は7ページをご覧ください